

笑顔あふれる 地域みんな ところっこ なではぐくもう



いろんな場所で
他の学年の子と遊べて
楽しい!



従来、市では「放課後児童クラブ」と「ほっかご」とは同じ小学校内にあってもそれぞれ運営が異なっていたため、利用する児童たちが一緒に遊ぶ機会が多くありませんでした。

この課題を受け、市は、中富小学校施設を活用し、27年4月から「中富小児童クラブ」と「中富ほっかご広場」の一体運営をスタート。学校施設を児童の自由な遊び場として開放し、両事業の指導員が連携して見守ること、全ての児童と一緒に楽しく遊べるようになり、従来存在した事業間の壁をなくすことで、事業単位

放課後事業の
一体運営が
スタート!

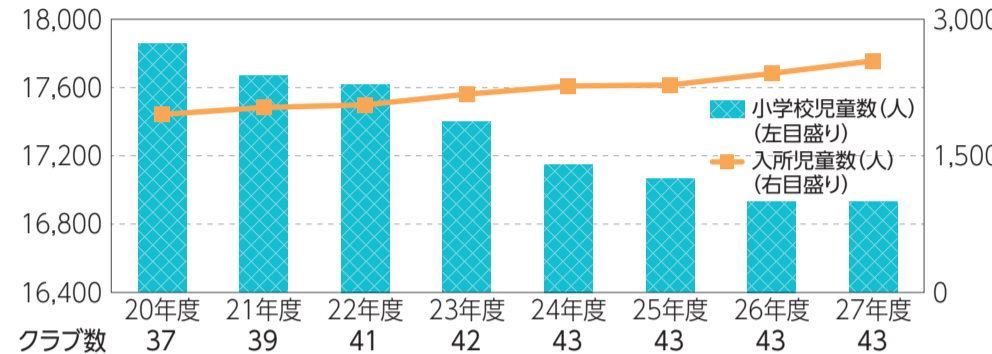


で運営を考えるのではなく、児童を中心にした運営方針を両事業間で共有しています。これにより、行事を同じ日に行うなど児童がより楽しめるようになりました。

現在、中富小学校は、児童がどちらの事業を利用していたとしても、その違いに関係なく、多くの児童たちが一緒に元氣いっぱい遊んでいます。

今後は、放課後児童クラブとほっかごとの連携をさらに強化し、児童たちが分け隔てなく遊ぶことのできる環境を整備することで、多くの児童たちへ「笑顔あふれる」放課後生活を提供していきます。

◆放課後児童クラブ(児童館生活クラブおよび児童クラブ)の利用状況



放課後児童
クラブは
こんなところ!



子どもたちを取り巻く環境の変化や、子どもたちに関わる重大な事件・事故の発生などを受けて、子どもたちの安全・安心の確保を求める声は多く、中でも、放課後の児童の居場所に対するニーズが大変高まっています。

こうした声に応え、市は、平成22年に「放課後子ども健全育成基本方針」を策定し、「笑顔あふれる とろろ」地域みんなではぐくもう」を基本理念に児童の放課後生活の充実に取り組み、27年度は新たに放課後事業の一体運営をスタートしました。既存の放課後対策事業の取り組みともにご紹介します。

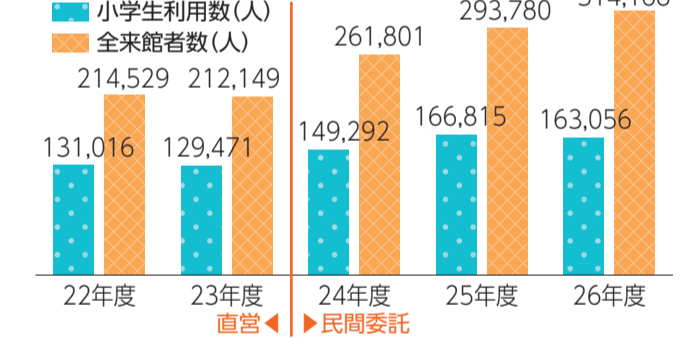
青少年課 ☎2998-9103 ☒2998-9035

放課後対策トピックス

3月28日に、全12児童館生活クラブが参加して、『所沢郷土かるた大会』が開催されました。各生活クラブの予選会で選ばれた4人で1チームを構成し、大会に臨みました。激戦を制したのは、みどり児童館第2生活クラブのメンバーでした!



3年間で来館者は約1.5倍



児童館は、児童館生活クラブと並行して一般の児童を受け入れる全児童対策の一つとして、夏休みの一時期より事業を開始するなど新たなニーズへの対応も進めています。

児童館は24年度から民間委託を進め、27年度からは全児童館が民間による管理運営となりました。民間活力の導入により、各児童館が特色のある取り組みを行っています。27年1月に実施した利用者アンケートでは98.7%の方から「児童館の運営について満足している」と回答を得ました。また、原則として毎月第2日曜日および年末年始以外は無休日とした。各児童館が工夫を凝らした運営を行った結果、近年の児童館の利用者数は大きく伸びています。

児童館は、0歳から高校生までの乳幼児・児童・生徒が利用できます。ぜひご利用ください。

児童館の 放課後の 役割

7月5日に、北秋津小学校で開催された『第9回七夕まつり』では、北秋津小学校で行われている放課後対策事業に参加する児童たちが協力し合い、おばけ屋敷を作りました。事前準備から当日の運営まで、児童たちの創意工夫が盛りだくさんの企画で、地域の子どもから大人まで多数の来場者が楽しみました。



ほっかご
ところで
あそぼう!



明峰小学校に通うひばり児童館生活クラブの児童たちが、フィンスイミング世界大会に出場した所沢市観光大使で明峰小学校出身のお笑い芸人・オードリー春日俊彰さんへ応援メッセージを送りました。その後、見事銅メダルを獲得した春日さんが、7月20日に所沢市役所を訪れ、応援メッセージを送ってくれた児童たちに直接お礼の言葉を伝えました。この様子はテレビや新聞でも紹介され、話題になりました。



市内のほっかごところ	所管課
所沢小学校ほっかごところ	学校教育課 ☎2998-9238
北小学校ほっかごところ	
松井小学校ほっかごまつい	
清進小学校せいしんネットほっかごところ	
明峰小学校ほっかごめいほう	
若松小学校ほっかごわかまつどんぐりキッズ	
北秋津小学校ほっかごところんぼキッズ	
若狭小学校ほっかごわかさ	青少年課
林小学校ほっかごほやし	
南小学校ほっかごみやみ	
中富ほっかご広場	

